ジョブ管理 の技 22

ビジネスリスクを最小化するために、クリティカルなジョブがスケジュール通りに完了しているか、 一目で把握できる状況をつくりたい

現状の課題

ビジネスを支える IT サービスを正常に提供するのが IT 運用の役割である。ジョブ管理においてもサービス視点での管理が重要である。管理するジョブの中には即サービスに影響を与えるジョブもあれば、そうでないジョブもある。ジョブに障害が起こった場合、全てのジョブに対し即時対応するには非常に大きなコストが掛かる。逆に即時対応が必要なものの対応が遅れると、ビジネスに影響が出る。

優先順位を付けて対応する必要があるが、ジョブの障害が発生した場合に、ビジネスに与える影響を判断するのが難しい。特に、異なるアプリケーションが連結したシステムでは、他のジョブへの影響範囲を把握するだけでも大変である。

IT サービスへの影響となるとさらに把握が難しくなる。

解決策

各ジョブと IT サービスの相関関係が可視化できれば、的確な優先付けが可能になる。具体的には、サービスに影響を及ぼすクリティカルなジョブを抽出し、そのクリティカルなジョブに異常があった場合は、「サービスに影響がある」というエラー情報を通知する。

IT サービスに影響があるジョブの異常を通知するだけでなく、IT サービスが正常であることも通知するようにすると、軽微なジョブ異常が発生した時の IT サービスへの影響の有無が確認でき、より効果的である。

Senju Family での実践方法

Senju DevOperation Conductor ではジョブと IT サービスを関連付けて、サービス視点でジョブの稼働状況を可視化する「ジョブサービス」機能を提供している。

あらかじめ、クリティカルなジョブとサービスを関連付けて登録しておくと、自動的にクリティカルなジョブのステータスを確認し、サービスの状況を一覧表示する。クリティカルなジョブに 異常や遅延があれば、サービスの異常として異常イベントを通知する。サービスの状態の一覧 表示もできるため、正常であることもひと目で確認できる。

ジョブサービスモニタ 表示条件設定 ジョブサービスチェック項目一覧 アクション▼ 自動更新 ● OFF 最終更新日時:2024-02-13 18:20:08 1 - 6(6件中) ≪ 〈 1 ▼ 〉 ≫ 表示件数 25 ▼ 列表示 チェック内容 結果 実施時刻 チェック時刻 確認 20240213 19:00 テナントA-起動雑誌 起動雑誌・フレーム3 フレーム SYSTEM0001 FRAME0003 正常終了 ■ 20240213 19:00 テナントA-正常終了 広端終了機能・フレー フレーム SYSTEM0001 FRAME0003 正常/スキップ終了 ■ 20240213 11:00 テナントB・収割簿報8 成業簿報7-フレーム2 フレーム SYSTEM0001-FRAME0002 正常終了 △(成割課誌) 2024-02-13-18:10-07 2024-02-13 18:10-18 20240213 11:00 テナントB-正業終了確認・プレー 正業終了確認・プレー フレーム SYSTEM0001 FRAME0001 △ (終了遅延) 2024-02-13 18:10:13 2024-02-13 18:10:18 起動済み 20240213 11:00 テナントB-正業終了確認 正業終了確認・フレーム フレーム SYSTEM0001 FRAME0002 20240213 10:00 デナントB-起熱確認 配熱確認・フレーム フレーム SYSTEM0001 FRAME0001 × (異常) 2024-02-13 18:10:09 2024-02-13 18:10:18 〇 (正常) 2024-02-13 18:10:02 2024-02-13 18:10:18 1-6(6件中) 《 〈 1 **v** 〉 》